



平成 29 年 4 月 13 日
 市民局 防災広域調整担当

市政記者各位

『備災のまちづくり@福岡』プロジェクトについて ～イオングループ×スマートサバイバープロジェクト×福岡市～

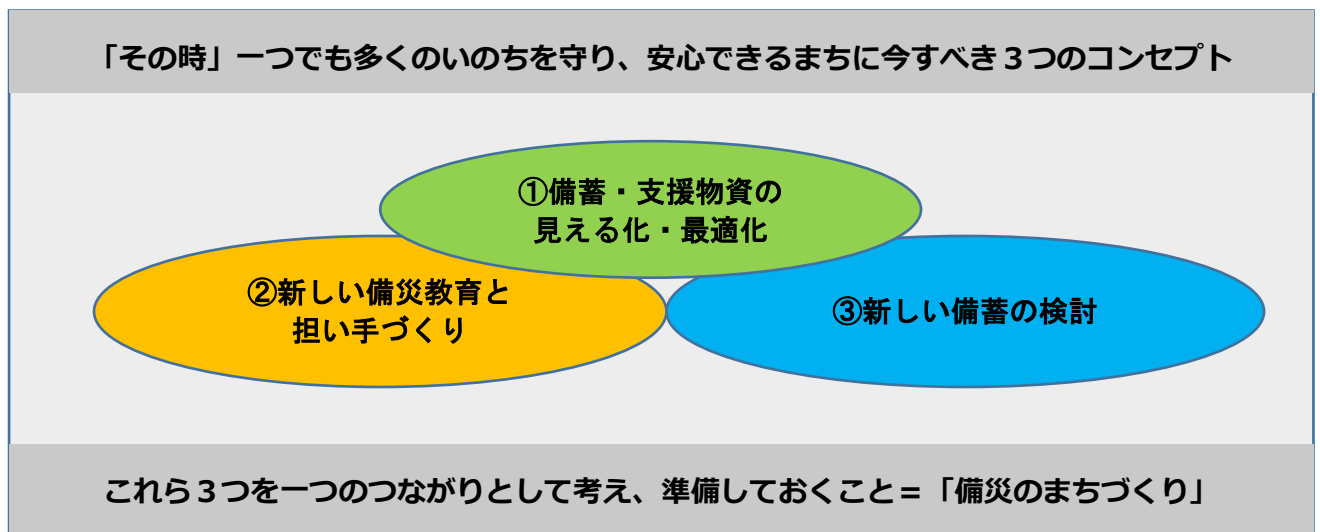
福岡市では防災先進地域九州を目指し、市民、企業、NPOなど様々な主体の力を結集して、「共創」で取り組む仕組みを平時から創りあげておくことが大切だと考えています。このたび、共創の具体化として「備災のまちづくり」プロジェクトについて、以下のとおり連携を図り、「日本の災害支援のロールモデル」をめざして取り組みを進めます。

○備災のまちづくりとは

「平時の備えから有事の支援～復旧までをスムーズかつ包括的につなぎ、行政、市民、企業、団体が、無理なく無駄なく動ける仕組みづくり」のことです。

1 プロジェクトの3つのコンセプト

- ①備蓄・支援物資の見える化・最適化
- ②新しい備災教育と担い手づくり
- ③新しい備蓄の検討



2 連携主体

- ・イオングループ
- ・一般社団法人スマートサバイバープロジェクト
- ・福岡市

3 プロジェクトの取組みイメージ

- ・ICTなどの活用による備蓄・支援物資の見える化、最適化
- ・「防災ママカフェ」などによる、新しい備蓄教育と担い手づくり

★本日キックオフイベント

【問い合わせ先】

市民局防災広域調整担当

森山, 横山

電話:092-711-4967 (内線6211)